

## アイクルフェアに出展して（令和5年11月19日）

横須賀市環境部環境保全課

齊藤 学

### 「パネルを通して会話が弾む」

アイクルフェアは、一人ひとりが環境問題に関心を持ち、普段から環境に配慮した行動をとることで環境問題の改善につなげるという観点から実施されています。

横須賀市地域水質保全協議会は、横須賀の市民・事業者の環境活動の取り組みを推進・支援しているおり、横須賀市地域水質保全協議会という団体を皆さんに知ってもらうことも兼ねて、令和4年度に引き続き、アイクルフェアに出展しました。

フェア当日（11月19日）は、協議会及び会員企業が取り組む活動を紹介したパネルに、魚（スズキ・クロダイ）の模型を展示して、準備を整えました。

壁に吊り下げられたスズキの模型（1メートル）に、立ち止まったり、指差したりと、お客様の関心の高さに一安心。



### 《 お魚君たちがズラッと勢ぞろい 》

河川調査のパネルに顔を近づけて、「こんな魚がいるんだ！」「昔はよく見た魚だけど、今でも生息しているんですね。」など、興味を持った人から話しかけられることもありました。会員企業の森林保護活動の展示パネルをのぞき込む人も見受けられました。

少しでもこのアイクルフェアを通じて、横須賀市地域水質保全協議会とその活動に関心を持って戴けたことに感謝です。



《 パネルを見ながら昔話に花が咲く 》

最後になりましたが、河川調査活動の紹介パネルの作成及びスズキ・クロダイの模型貸与を快諾して下さいました横須賀市自然・人文博物館の萩原さん、森林保全活動の紹介パネルで協力をいただいた株式会社やまびこの大谷さんに、感謝を申し上げます。